

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サニーライフ大井松田	階数	地上3F
建設地	足柄上郡大井町金子689他6筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層、第一種住居	平均居住人員	100 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2013年7月26日
敷地面積	2,262 m ²	作成者	KDライフデザイン研究所
建築面積	958 m ²	確認日	2013年8月6日
延床面積	2,572 m ²	確認者	KDライフデザイン研究所

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ☆☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建設における条件として、事業主(土地建物所有者)と施設運用者(サニーライフ)が同一でないため、建設コストを抑制しつつ、施設運営に支障が無いよう標準仕様で設計することが課題となった。	その他 0
Q1 室内環境	部分的に良好、或いは低下する項目が出来ないよう、平均して標準的な室内環境の維持が可能な施設・設備の計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内外構の緑化を重視、植栽・樹種の四季循環と、建築設備のうち排熱・騒音を伴う機器の配置(屋上に設置)に考慮した。
LR1 エネルギー	建設コストを抑える一環で躯体の断熱仕様を最低限度としたため、外皮性能は満足できないものとなった。基本的に採用あるいは選定した機器類は省エネルギー仕様となっており、未利用エネルギーを採用するための投資は抑制した。	LR3 敷地外環境 計画・設計に当たっては、法規制を遵守し、地域の環境を乱すことの無いよう標準的且つ最低限の費用負担で実現可能な仕様とした。
Q2 サービス性能	特に注意を払う項目として、日常生活維持に欠かせない設備の駆動源となる電力施設の安全性を重視した。(冠水、水損等の事故回避)	
LR2 資源・マテリアル	建材のリサイクル商品は未だ建設コストの採算に合わないため採用を控えた。建築設備の衛生器具等は節水・エコマテリアルで省エネルギー仕様のため、積極的に選定した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される